

大空からの贈り物

鈴木 礼奈

日本は梅雨の時期と秋雨の時期に雨が多くはなりますが、その時期を過ぎても雨が降らないわけでもなく、一年を通してほぼどの雨が予想できます。台風などの自然災害により洪水などで被害を受け場合もあり、雨水の利用はもしかすると私達の生活に大きな利益をもたらしてくれるかもしれせん。

私はこういう分野に雨水を使おうかと考えました。

一、みんなが努力している節電への協力として「補助発電」への利用。

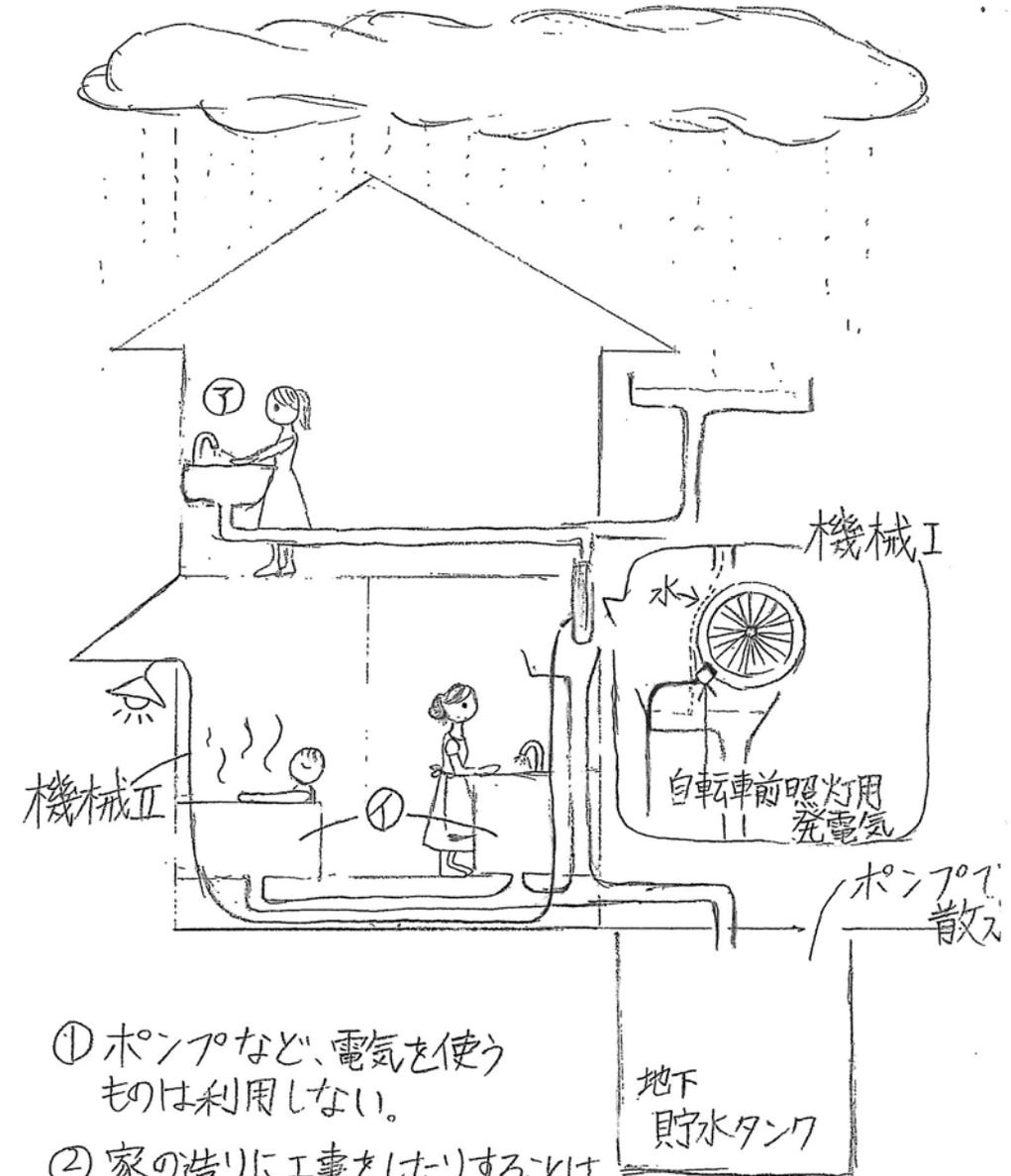
二、水洗トイレ用の水、庭などへの散水用の水としての利用。

三、直接的な雨水以外の水でも雨水と同じに今までなら捨てていた水を雨水として利用できないか。

これらの分野をまとめて次のような「雨水排水利用ハウス」を考えました。

別紙の（雨水・排水利用イメージ）をもとに説明します。まず雨を大きめの貯水そうに受け、室内に引きこみ、機械Iを回します。Iに取りつけられたIIで自転車の前照灯くらの電気（門灯など）をつけます。つまり小水力発電です。これに加えて二階で使った、油などの混じっていない排水（③）や一階で使った油よごれなどのない、例えばお風呂の浴そう内の捨てる水（①）も集めて地下の貯水タンクにおさめます。その地下タンクの水は足ふみ式または電池式（灯油用など）のポンプで散水します。Iというのは自転車のタイヤを水で回ソやすく工夫したもので、IIは自転車前照灯用発電システムです。絵のように簡単にいかないかもしれませんが少しでも自然への恩返しができたらいいと思います。

雨水・排水利用イメージ



- ① ポンプなど、電気を使うものは利用しない。
- ② 家の造りに工事をしたりすることはできるだけさける。
- ③ マンションなどの集合的な住宅の場合、できるだけ住民全員の積極的な協力を前提とすること。